

6
1957



聖法の道

「伝道部長メツセージ」

完全のままの福音書

新訳「モルモン経」を出版す...

ポールC・フンドラス伝道部長... 一頁

論叢

二つの海・ブルース・バートン... 三

正統信仰を守れ... 四

...S.W・キンボール... 四

「質問欄」 不死不滅と永遠の生命... 四

「ニュース欄」... 七

ヒギンズ長老のたより

日本の宣教師大会

伝道部長の動靜

「伝道本部より」

(イ)日本人宣教師召さる

(ロ)新宣教師到着

(イ)転任

(ニ)任命

(イ)解任

(ハ)バプテスマ

「福音のたより」

(各支部の報告)...

九頁

各古屋支部の概況

岡町支部の動き

安倍野支部報告

東京北支部より

室蘭支部近況

山形支部大会

中央地方部大会

「信仰と証詞」

証詞... (前橋)田中健治

十二

救われた証詞(東京北)中村協子

十三

光を与えたもの(小樽)石尾つる

十四

私は末日聖徒である...

十五

... (室蘭)鈴木正治

十五

「支部訪問記」(仙台支部の巻)...

十五

◎新訳「モルモン経」が出版された。訳文は口語体となつたので従来のように文章の難解の点がない。すべての兄弟姉妹たちは此

の新訳「モルモン経」を読むことによつて、この教会の真実性と、神の「救いの計画」

がどんなであるかを理解されると思う、是非一読あらんことをお勧めする。

◎「LD Sメツセンジャー」は私たちが長い間親しんだ伝道部の機関誌であつた、こんど、本部に新しい印刷機が入つたのを機会に紙質も改善し、内容を漸次充実する計画ですが、同時に誌名を「聖徒の道」と改題した。

◎毎月悔い改めてバプテスマを受ける兄弟姉妹が多くなつて来た。私たちは「わが教会は真のキリストの教会である」との証詞を強くして福音の道を究めましょう。

伝道部長メツセージ

完全のままの福音書

新訳「モルモン経」を出版す

○・・・ポール・C・アンドラス伝道部長



予言者ジョセフ・スミスは、世の如何なる書物を研究するより、モル

モン経の研究を通して神により近く住うことが出来ると云いました。現代に於て最も必要なることは、真実にして、且つ生ける神に近づくことであります。換言するなら、真実の神が現実存在するなら、真実の神が現実存在しないことを認識し、

神とはどんな御方であるかを理解し、その神の救いの計画の原則と教えとを把握して、それらを自己の生活に適應せしめることであります。かくして、私たちの生活は神に近ずいたものとなります。このことこそ今日の人間の最も必要とする事柄であります。

○・・・最初の日本語版は一九〇九年

モルモン経は、最初アルマ・テイラー長老によつて日本語に翻訳されました。彼は、この時フレッド・A・ケイン長老と数人の教育ある日本人の援助を受けました。これらの人たちは一九〇四年に翻訳の仕事に着手し、日本語の翻訳が出版されたのは一九〇九年のことでした。

この最初の翻訳が完成したということは誠に卓越せる、記念すべき文学上の業績でありまして、この翻訳に精通している人は、この翻訳事業が神の力によつて指示されたものであることを容易に認めるのであります。しかしながら、この翻訳は日本の古い言語形式によるものであり、漢字は複雑で且つ困難であるため、普通の人はその意味の把握にたいへん苦心致しました。

○・・・改訳は一九四九年に着手する

一九四八年、この伝道部が再開されてからすぐ後のこと、エドワード・L・クリソールド伝道部長は、このモルモン経を容易に読み、且つ理解することの出来る様にと、佐藤龍猪兄弟にそれを新らしく翻訳する様お命じになりました。佐藤兄弟はこの責任を遂行せんため、八年の間この仕事に止むことなく従事致しました。それ故、日本の現在の会員のみならず、将来この教会の会員になられるであろう人たちはモルモン経の新訳を完成した佐藤龍猪兄弟のすばらしい業績に対して負うところ極めて甚大なのであります。

○・・・新訳出版までの八年間の経緯

この仕事に対して任命された時より八年の間、佐藤兄弟は教義上の問題をクリソールド伝道部長、マース伝道部長、ロバートソン伝道部長、マシュー・カウリー長老（十二使徒）、ハロルド・B・リー長老（十二使徒）及びジョセフ・F・スミス十二使徒会会長と相談致しました。彼は、この八年間日本で働いた多くの宣教師の方々とも相談研究し、一九五六年六月四日、管長会の許可を得て特別翻訳委員会が組織され、佐藤兄弟の翻訳になるモルモン経、教

義と聖約、高価なる真珠の最後の改訂が行われました。佐藤龍猪兄弟、高木富五郎兄弟、ドン・ランドバーク長老、ベン・オニキ長老が、この委員会の会長をつとめたポール・アンドラス伝道部長によつてこの委員会の会員として聖任されました。これらの会員たちは、六月四日から八月十三日まで毎日四、五時間、毎週五、六日集まつて働き、その翻訳の仕事を完成したのです。佐藤兄弟の翻訳出版の許可は、一九五六年十月二十七日管長会よりとどき、その時より出版のための校正と最後の原稿の準備が行われました。タイピストや翻訳者たちは、原稿の校正と準備に大奮でした。ランドバーク長老は、三省堂との交渉にあたつて忙がしく働き、この出版計画の進行に大なる援助を与えました。私たちは以上の人たちに負うところが極めて大きいであります。

○・・・この「救いの計画」を凡ての人に

皆様がこの記事をよまれる頃には、モルモン経の新訳は出版されていることでしょう。約二年の間、モルモン経は絶版になつていましたが、今やすべての人に使われる様になるのです。モルモン経は、それを出版する価格以下の値段で売られる予定であり、一冊三百円という非常に合理的な価格で購入可能であります。モロナイ天使はジョセフ・スミスに、モルモン経には、イエスキリストの完全のまゝの福音が含まれてゐると云いました。日の栄光に於て救われ、最高の栄光に進むためにわれわれの知らねばならないすべてのこと——永遠の生命を得るためにわれわれの知る必要のあるすべてのことは、モルモン経の中に含まれています。私はバプテスマによつて教会に入つたすべて

の人たちが、この時にあたり、この新訳を通してモルモン経を新たに研究なさるであらうことを祈つています。そうすることによつて、皆様一人一人はその愛する人たちと共に神の選びの祝福に与ることが出来るのです。私は未だ教会の会員とならない多くの兄弟姉妹が神と救いの計画に関する知識を得、且つモルモン経の新訳を通して感化を受け、神の真実の教会に加入するであらうことを心から祈つて止みません。



左より高木兄弟 佐藤兄弟 ランドバーク長老
アンドラス部長 左上はオニキ長老

二つの海

〇・・・ブルース・バートン

パレスチナには二つの海があります。一つの海には、いつも新鮮な水がたゞえられて、中には沢さんの魚が泳ぎまわっておりまゝです。青々とした緑の草は、その海の岸辺をきれいに飾り、木々はその枝ぶりを海面にまで伸ばしています。また冷たい水をすべて吸収するかの様に、そのかわいた根も大きくひろげられています。

川岸に沿つて歩くと、子供たちの遊んでいる姿が目に入ります。それは丁度、イエスさまがまだ生きてここにいられた時に見受けられた子供たちの状況と全く同じであります。イエスさまは、この海をとつても愛しておられました。譬話をなさる時には、いつも銀の波のたゞようこの海に目をやられ、またこの海よりほど遠からぬ起伏多い平原で、五千人の人たちに食物を与えたのでした。

ヨルダン河は、岡より注ぐ川の水と共に、この大海を形作つています。ですから、この海は太陽のまんさんと照り輝く中で微笑み、人々はその近くに家を建て、小鳥たちは巣を作ります。

ヨルダン河は、南下してもう一つの海に注いでおります。その海には魚のはわる音も、木の葉の鳴る音も、鳥のなき声も、また子供たちの笑い声も聞えませんが。

旅行者たちは、急ぎの用事の無い時に、この近くを通らないようにして、他の道を選びます。空気は海面に重く、低くたれこめて、人も動物も、鳥も、決してこの海の水を飲もうとしません。

これ程接近している海に、どうしてこれ程のちがひがあるのでしょうか。

うか。このちがひの原因は何でしょうか。ヨルダン河ではありません。ヨルダン河は、両方の海に同じく良い水を注ぎ込んでいます。また土地でもありませんし、まわりにある国がその原因でもありません。ちがひはこれです、ガリラヤの海はヨルダン河の水を受け入れますが、それを貯えておかないのです。即ち、ながれ込んで来る水は、みな流れ出て行くのです。換言すると、与えるのと受け入れるのが、その量に於て同じなのです。しかし、もう一つの海は、流れ込んで来る水をすべて貯えておく程、きわめて抜け目のない海です。そして川水の一滴たりとも失うことなく、それを保存しているのです。

ガリラヤの海は、他に与えて生きている海ですが、もう一つの海は、他に水を与えず、このため、これは死んだ海であつて「死海」と呼ばれています。

パレスチナに二つの海があるように、この世にはこの二種類の人間がおります。一人はガリラヤの海のように持つてゐるすべてのものを与え、他の人とそれを分けもつことを好みます。すべてのものとは・・・才能、時間、財産、愛などです。もう一人の人は、死海の如き人で、もてるすべてのものを貯えて、決して他の人に与えようとしません。持つてゐるものの一部を与えるなら、私たちの心は、他の人の心の中に生きます。しかし、そうでなければ、私たちの心は、人々の間で輝くことなく、むしろ死んだも同然となつてしまします。

私は、与えるという精神が常に私たちの心にやどります様、イエスキリストの御名によつてお祈り致しております。

正統信仰を守れ

〇・・・スペンサーW・キンボール

いさしくも教会で福音を宣べる者のつとめは、聞く者の心と生活とをより信仰的ならしめるにある。それ故もしわが教会のプログラムを受け入れず、これを無条件に正統的な仕方で教える教師があるとすれば、かれは教壇に立つべきではない。かれがその職を辞することはかれの名譽の一部でさえある。尚もその任を固執するならば、かれは不正直者、いつわり者であるばかりか正に罪に定められているのである。

救主はかつて仰せられた。「わたしを信ずるこれらの小さい者の一人をつまずかせ、教義に於て迷わせる者は、大きな臼を首にかけられて海の深みに沈められる方が、その人の益になる」と。

社会では他人の肉体を死に至らしめたものは殺人者として捕えられ、死刑に処せられる。しかし人の心に疑心を植えつけ、眞の信仰をさえぎつてその人の魂を死に至らしめた者は、別にとがめだてられぬばかりか、しばしば高い地位を得てさえいる。

滅びた肉体は、永遠の幸福という立場から見れば、ほとんどわずかの損失すらうけずにやがてよみがえるであろう。だがしかしその信仰の道をふさがれてしまつた者は、魂が本然の姿に立歸る迄には長い年月を苦しみ抜かねばならぬのである。

それ故私は警告する。ワード、ステーキ、ミッシヨンの指導者たちよ、諸氏の管理するいかなるクラス、いかなる集会にあつても人を誤らす教義一かけらさえ宣伝されることのないよう、常に目をままし居れ、と。

狼は羊の上をおいをして選民の中に入り来り、すきあらばこれをあざむくであらう。

私は重ねて警告する。破壊的な教義を、或は筆にし、或は口にして人々をあまり導く者の上に、神よりの罰が必ずや下されるであらうと。(一九四八年四月の大会にて。チャーチニュース紙より)

質問欄

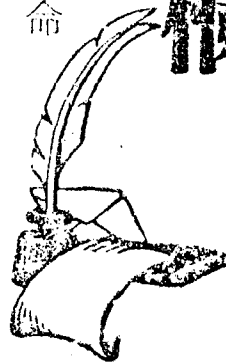
✓ 不死不滅と永遠の生命

「質問」

日の榮光、月の榮光、星の榮光に入る人は、みな永遠の生命の賜を受けるか。不死不滅と永遠の生命とは相異なるものか。

「答」

聖典の中に定義されている不死不滅は、イエスキリストの賜を通してすべての人に与えられる神の賜である。そこには普遍的な復活がなければならぬ。一人でも復活に与らない者が居るとすれば、死を克服した救主の勝利は、不完全なものであつたことになる。死がこの世にもたらされたのはアダムの墮落によつてであり、アダムの子孫はその死に対して何等責任を有さないものであるから、この世に死を生ぜしめたこの破れた律法が修正され、且つ贖いを通じてすべての人に生命が与えられねばならぬといふことは、天父なる神の正義であり、愛なの



である。このことが不死不滅とよばれるものである。不死不滅と永遠に生きるという力が同義語であることは真実であるが、主は万人を回復するこの大なる賜に御自身の解釈をつけ加えられて、それを不死不滅とお呼びになられた。われわれの有する聖典には、この解釈を極めて明確にするところの数多くの聖句がある。例えば、パウロはコリントの教会の人たちに書簡を書き送り次の様に云っている。

それは死が一人の人によつてきたのだから死人の復活もまた一人の人によつてこなければならぬ。アダムにあつてすべての人が死んでいるのと同じように、キリストにあつてすべての人が生かされるのである。ただ各自はそれぞれの順序に従わねばならない。最初はキリスト、次に主の来臨に際してキリストに属する者たち、それから終末となつてその時にキリストはすべての君たち、すべての權威と權力とを打ち滅ぼして、国を父なる神に渡されるのである。なぜなら、キリストはあらゆる敵をその足もとに置く時まで支配を続けることになつてゐるからである。最後の敵として滅ぼされるのが死である。(コリント前書 十五章二十一節―二十六節)

アミュレクは、アモナイハの人たちに次の様に語つてゐる。

ここに於て靈と体とは再び合して完全な形となり、手足も骨の關節も私たちが今持つてゐる本来の形に返り、私たちが今持つてゐるような知識を保ち、明らかに自分が持つてゐる一切の罪を思いめぐらしてそのまゝ神の御前に引き出されるのである。この復活はあらゆる人が全部受けるのであつて、老若男女の区別なく悪人とを問はず奴隷と自由人とのへだてなく、一すじの髪の毛さえも失われずに、

総身の何れの部もあつても今の世にあるようになり、完全の形にかえるのである。それから後で、その行いの善し悪しに依じて裁判を受けるため、一つの永遠の神会を成すお方、すなわち御子なるキリストと父なる神と聖靈との法廷に召される。

(アルマ書 十一章四十三節―四十四節)

この宣言は、不死不滅に関するものである。

モーセの書一章三十九節「見よ、これわが業にしてわが栄光、すなわち人に不死不滅と永遠の生命とをもたらすなり」は極めて重要な意義ある言葉であり、不死不滅と永遠の生命とは、種々なる異つた復活に關係を有するものであるということを示している。このことは、ジョセフ・スミスに与えられた次の主の御言葉によつて更に強調されている。

かくしてわれ主なる神は、また人に救いを得べき試みの世を定めたり。すなわち信する者は、皆その肉体の死により復活して不死不滅に入り、永遠の生命を得んためなり。されど、信ぜざる者は復活して不死不滅となり、永遠に神の御前より断ち切られん。

(教義と聖約 二十九章四十三―四十四節)

従つて、永遠の生命は、不死不滅の賜をはるかに超越するところの神の最も大いなる賜である。永遠の生命によつて祝福される人は、天父なる神の国の完全さをもつて祝福されるのである。そのことについて次の様な言葉がある。

もし汝ら善を行わんと欲し誠に終りまで変ることなく忠実ならば、神の王国に救われるべし。こは神の賜のうち最大なるものなり。お上

そ、救いの賜に勝る賜はあらざればなり。(教義と聖約 六章十三節)

もし汝わが誠命を守り、終りまで忍ぶならば、永遠の生命を得ん。これ神のあらゆる賜の中、最大なるもの。(教義と聖約 十四章七節)

之らの者は、キリストの証詞を受け入れ、その御名を信じ、その葬られたまいし様に従い御名により水中に沈められてバプテスマを受けし人々なり。こは、主の与えたまいし誠命によるものにして、すなわち、かく誠命を守ることによりあらゆる彼らの罪を洗い潔め、聖霊を授くる権能を結び固められ按手聖任せられたる者の按手によりて聖霊を受けんためなり。而して、之らの者は信仰によりて打ち勝ち、御父が正しく且つ真実なる者に注ぎたまう約束の聖き「みたま」により結び固められる。而して、之らの者は「長子」の教会員にして、御父は之らの者の手にすべてのものを与えたまい、また、彼らは御父の無上完全と御父の栄光とを受けたる祭司にして、また王たるなり。而して、エノクの神権に等しく、また神の生みたまう独子の神権に等しかりしメルケゼデクの神権に等しき、いと高き神の祭司なり。この故に彼らは、誌されたる如く神々にして、すなわちまた神の子なり。この故に、すべてのものは皆彼らのものなり。生けるも死ねるも、現在のものも、はた未来のものも皆然り。すべては彼らのものにして、彼らはキリストのもの、キリストはまた神のものなり。この故に彼らはすべてのものに打ち勝たん。

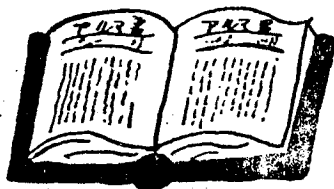
(教義と聖約 七十六章五十一節一六十節)

永遠の生命に与る人たちは、天父と御子と共に住み得る。これらの人たちは、天父なる神の国の全きを受けて、イエスキリストと共に受け継ぐ者となる。救主はユダヤ人を叱責したもうた時に、永遠の生命と不死不滅を明らかに区別したまい、次の様に申された。

それは父が御自分のうちに生命をお持ちになつていると同様に子にもまた、自分のうちに生命を持つことをお許しになつたからである。そして子は人の子であるから、子にはさばきを行う権能をお与えになつた。このことを驚くには及ばない。墓の中にいる者たちが皆神の子の声を聞き、善を行つた人々は、さばきを受けるためによみがえつてそれぞれ出て来るであらう(ヨハネ伝 五章二十六節一二十九節)

モロナイの手に 封せられしを
「地より叫べ」の 命令を待ちて
また世に出でたり エスの治めにと
また世に出でたり エスの治めにと

其の記録語る
ヨセフの末
とくに滅びし
民ののこり
ページには 啓示さる
ページには 完全き福音を
ページには 啓示さる
完全き福音を



ニュース欄

ヒギンズ 長老のたより

次の手紙は、病氣のため宣教の仕事より解任、帰国されたジョン・C・ヒギンズ 長老よりアンドラス伝道部長宛に送られて来たものである。

親愛なるアンドラス伝道部長様

私は今日貴方のお手紙を戴き、X光線を見出すことが出来たのを知り、大へんよろこんでおります。このことについて、いろいろ御援助下さいましたことを心よりうれしく思っております。私は今とても元気です。体重も二十ポンド増え、とても肥りましたので、これが私だと見分ける人はいないのではないかといふかしく思う位です。医者は私が結核であるかどうかとそうことに關して全く確実ではありません。しかし、推定上の証拠は多々あります。ともかく、危機にひんした病氣よりも、危機の憂いのないことの方がどれ程に良いかわかりません。私は、今南カルフォル

ニアにありますが、あと一ヶ月又はそれ以下で退院することが出来るでしょう。

私はこの伝道部の働きについてすばらしい知らせを耳にしました。貴方は今年六百のバプテスマを目標に努力なさっているとの由を聞きましたが、それは実に驚嘆すべきもので、私はその目標の達成される様心から祈っております。

私は又旭川に土地を講入することの出来たのを知り大へんうれしく思っています。その地方にステーク部の実を結ばせるという貴方の夢の実現されるのは間近いことでしょう。それでは、すべての人たちによりしくお伝え下さい。主のみちびきが常に皆様と共にあります様祈っております。

敬具

ジョン・C・ヒギンズ兄弟

(追伸)

私の六月中旬までの住所は
600 North Canyon Blvd.,
Monrovia, California
U. S. A.

ですが私の家宛にお手紙を下さつても私のところへ回送して下さいましょう。
私の家の住所は次の通りです。

John C. Higgins
1821 Canosa Las Vegas
Nevada

日本の宣教師大会

六月廿五、六、七の三日間、日光で、末日聖徒イエス・キリスト教会北部極東伝道部に所属して、各支部において福音の伝道に従事している宣教師は伝道部長ポール・C・アンドラス長老はじめ約百名の長老姉妹であるが、そのうち日本内地に在任する八十六名が(沖縄、朝鮮を除く)来る六月二十五、六、七の三日間アンドラス伝道部長管理の下に日光中禅寺湖のレクサイドホテルにおいて宣教師大会を開くこととなつた。

伝道部長の動静

アンドラス伝道部長は各支部の集りに出席のため、いつも東奔西走席の暖まる暇のなす多忙ですがこの一ヶ月間も次の通りでばた。五月四、五日 札幌における北海道大会へ。五月十一、十二日 大津市。五月十七、十八日 京城及び釜山。六月一、二日 仙台における北地方部大会へ。

伝道本部より

(イ) 日本人宣教師召さる

出原順子姉妹は五月十四日アンドラス伝道部長より専任宣教師として按手聖任された。彼女は現在横浜支部にて伝道中。

(ロ) 新宣教師到着

次の長老たちが、この程新たに宣教師としてアメリカから到着いたしました

カール・ブルコック (ユタ州プロボオ)
 デルレイ・ブラウ (アリゾナ州メサ)
 アレン・ロングマン (ユタ州オレム)
 ウォールター・ケネスクラウズ (アリゾナ州メサ)

クリフオード・ヴァンルーベン (ユタ州スプリングビル)
 ロバート・スタウト (アイダホ州ボイス)

(ハ) 転任

このほど任地の変つた宣教師は次の長老姉妹たちです

アルフレッド・ポール 新任地 札幌 旧任地 旭川
 アイリーン・遠藤姉妹 本部 札幌
 アルマ・橋本姉妹 岡町 横浜
 本村文江姉妹 岡町 横浜
 カール・ブルコック 名古屋 本部
 デルレイ・ブテウ 横浜 本部

アレン・ロングマン 旭川 本部
 ステイヴン・エリス 室蘭 松本
 ルイス・フズンク 岡町 名古屋
 ロナルド・ヒルズ 柳井 旭川
 ジェリー・アトキンソン 阿倍野 岡町
 フレデリック・ドールトン 金沢 小松
 ガース・ノーマン 松本 本部
 ジェームス・ジョーンズ 本部 岡町
 ホ・ボム・シン 本部 横浜
 マーク・フーザ 岡町 室蘭
 クリフオード・ヴァンルーベン 東京東 本部
 ウォールター・ケネスクラウズ 東京東 本部
 出原順子姉妹 横浜 本部
 アイリーン・遠藤姉妹 横浜 本部
 ダール・ウォーカー 本部 東京東

(ニ) 任命

左の長老たちが其の地区の地方部長、支部長または巡回宣教師に任命されました。

アルフレッド・ポール 札幌支部長
 ステイヴン・エリス 室蘭支部長
 ジェリー・アトキンソン 阿倍野支部長
 ジェームス・ジョーンズ 巡回宣教師
 ホ・ボム・シン 巡回宣教師
 マーク・フーザ 南中央地方部長
 ウイリアム・ウイタカ 岡町支部長
 紙谷富保 柳井支部長
 ライマン・ゴッドフレイ 小樽支部長

(ホ) 解任

野田和江姉妹 堀上タマル長老
 ルイス・ミラー長老
 ジョージ・アワ長老
 ハロルド・スレイド長老
 ドナルド・ハイス長老

池田千恵 (東京南支部)
 石渡利康 (新潟南支部)
 吉田潤一 (新潟南支部)
 コゴタカミツ (新潟南支部)
 北川信孝 (新潟南支部)
 岡本晴代 (新潟南支部)
 西間八四郎 (新潟南支部)
 本野恵美子 (新潟南支部)
 上野山研次郎 (新潟南支部)
 森岡千鶴子 (新潟南支部)
 村山じゆ子 (新潟南支部)
 笹原時子 (新潟南支部)
 高木昭子 (新潟南支部)
 松浦秀明 (新潟南支部)
 望月満枝 (新潟南支部)
 山本美枝 (新潟南支部)
 橋本由紀子 (新潟南支部)
 土橋知子 (新潟南支部)
 西村敏子 (新潟南支部)
 松村功子 (新潟南支部)
 佐藤功子 (新潟南支部)

佐藤	中川	多田	加藤	沼尻	藤井	稲毛	市田	市岡	北岡	吉田	古田	田中	安齊	中村	宮島	橋本	白井
美奈子	つや子	貞明子	照子	房子	昌子	みち子	みづ子	陸美子	たけお	秀夫	洋治	協子	惣太郎	常子	初子		
(室蘭支部)	(柳井支部)	(柳井支部)	(松本支部)	(松本支部)	(仙台支部)	(山形支部)	(岡町支部)	(岡町支部)	(岡町支部)	(岡町支部)	(岡町支部)	(東京北支部)	(旭川支部)	(旭川支部)	(旭川支部)		

右の外、沖縄支部十三名、朝鮮十八名の新しい会員が誕生しました。

キリストは 愛そのものだ

真実そのものだ

光そのものだ

生命そのものだ

智恵そのものだ

力そのものだ

栄光そのものだ

福音のたより

各支部の報告

名古屋支部の概況

今年に入ってから新教会堂における支部の活動はいよいよ活発になりました。新年会、食べよう会、宣教師の更迭、各種パーティー及び結婚式と最近まで行事概要は次の通りです。

(MIA 特別プログラム)

伊藤姉妹の御主人伊藤さんから日本、米、中国、ヒリッピン、インドネシアなどの興味ある旅行談。最近京都に旅行した八木沼慶子、柳田、松浦三姉妹の興味深いリレー式お話をうかがい有意義な集いでした(三月十四日)(イースター) 地方部大会のため繰上げて四月十四日施行、小さい神権者と姉妹たちにより聖書の事実を上演しました。

(地方部大会) 名古屋支部から大阪の会場へ二十九名出席した。

(結婚式) 二月二十三日には成田兄弟と多門姉妹、五月一日には長瀬姉妹と森氏の二組が当教会堂で結婚式を挙げました。

(送行会) 新たに宣教師に召された出原

姉妹のために五月一日開催、同姉妹の前途を祝福いたしました。なお五月三日の休日には子供たちと共に八事山にピクニックして清い空気を胸いっぱい、吸いました。出席三十五名 (松浦美代子)

岡町支部の動き

四月から五月にかけて慌だしい日が続いた。南中央地方部春季大会があつてアンドラス伝道部長御夫妻はじめジョーンズ地方部長及びミラー阿倍野、ボーエン金沢、ジェンスン小松、ローバー京都、ピーマン名古屋、アワ岡町の各支部長と同僚宣教師たちが大阪へ集つて森之宮労働会館は末日聖徒の聖なる殿堂となつた。こうした雰囲気の中でわが支部の活動はいよいよ活発となり、神の恵みのいと高きを痛感させられました。

(バプテスマ) 四月十九日箕面山清流において浸礼を受けた新しい兄弟姉妹は次の八名でした。

北川信幸 古矢建夫 安齊洋治 田中秀夫
北岡みづほ 吉田陸美 市田昌子 市田みち子

〔新任支部役員の顔触れ〕 支部の活動を

盛んにするたれ各補助機関の役員を移動し、

按手聖任されたのは次の兄弟姉妹で其の活躍

を期待されている

日曜学校子供のクラス

第一顧問 上野山恵美子姉妹

第二顧問 西 晴 代姉妹

支部長会

第二副支部長 中 川 兄弟

日曜学校長 中 筋 兄弟

同第一顧問 上野山 兄弟

同第二顧問 北 川 兄弟

同 書 記 市田昌子姉妹

同音楽指揮者 秋元富佐姉妹

同オルガニスト 村 川 姉妹

扶助協会会長 今井富子姉妹

M I A

M I A 第一顧問 田口広道兄弟

M I A 第二顧問 高橋勝則兄弟

M I A 書 記 森岡千鶴子姉妹

〔支部長更迭〕 今まで支部長であつた、

アワ長老は任期満了して近くハワイへ帰国

されることとなり、後任支部長としてウエ

イタカ長老が五月二日米任された。

〔サヨナラ ビクニツク〕

ジョンズ地方部長、アワ岡町支部長の送別

ビクニツクを四月二十九日服部緑地ゴルフ場

で開催した。この日天氣に恵まれて会するも

の六十名、楽しい一日であつた

〔懐しい一コマ〕 南中央地方部大会でお

目にかかつたアンドラス姉妹は七年前大阪十

三支部〔本支部の前身〕時代に私たちを導い

て下さつたバーカー姉妹であつたので、この

再会は言葉つくせぬ懐しさでした。アンドラ

ス姉妹も感無量の御様子でした。その頃バブ

テスマを受けた阪本晴子姉妹や邦須姉妹や私、

田中、中川両兄弟などほんとうに懐しい大会

風景の一コマを持つた感じでした。

〔阪本幾代〕

安倍野支部報告

一 浸礼と神権。四月十九日箕面において橋

本由起子姉妹が誕生した。また山本雅男兄

弟が長老に、小原勝兄弟が執事に、それぞれ

神権が授与された。

一、新役員の按手聖任

神権会書記 細 田 泉兄弟

神権会教師 大村洋一郎 兄弟

日曜学校第二顧問 小 原 勝兄弟

同新求道者役員教師 植 村 茂 夫兄弟

子供日曜学校教師 橋本由起子姉妹

一、オルガン購入。四月末に支部備付のオル

ガンを購入した。

一、支部の統計。会員四〇、〔神権者〕長老

四、祭司四、教師一、執事四〔植村茂夫〕

東京北支部より

不活潑会員の多いことは会員相互の努力が

足りないことと強く自省されるので、できる

だけ神権会と扶助協会とが会員訪問を続けた

いというので其旨会員一同に奮起を依頼した。

わが支部が多数の会員を擁しながら出席率の

低いのはまことに遺憾です。そのため補助機

関の組織が容易に確立しないのは当然で私た

ち所属会員一同の責任を痛感されます。そこで

先月は扶助協会の役員を決定聖任し、今月は日

曜学校の役員を次のように決定し、次はM I A

順次整備したいと念じています。

日曜学校長 山 田 五 郎兄弟

第一顧問 福田 正 勝兄弟

第二顧問 屋間 修一 郎兄弟

書記 谷 保 良 子姉妹

なお六月一日には豊島公会堂で教会堂建設資金のためバライティ・ショーを計画して宣教師会員一致で切符売りに協力しました。

室蘭支部近況

一、支那のキッチン用品を購入したので神糧会はこれの塗装を担当したが見違えるように明るくなった。

一、北海道地方部大会が札幌で開催されたので、当支部から十四名が出席した。

山形支部大会

四月二十七日二十八日、仙台支部よりアイ

ラ・テルフォード地方部長、ヴァンノイ長老

ベギー勝田姉妹、アイザック姉妹を迎えて、

「信仰のよきなまを戦え、永遠の生命を得よ、これがために召をこうむりまた多くの証人の前にて善き証明をなせ(テモテ前六章十二節)の主題のもとに春季山形支部大会を開会した。夜はファイヤーサイドを開き

仙台支部の福田兄弟より系図について野矢のお話を伺いました。又鈴木政毅長老は五月一日山形を離れてアメリカに出発いたしますのでお話をして頂き又テノールで美しい独唱をきかせて頂きました。聖霊にみたまされたよき会を終ることの出来ました事はすべて神の御恵みと私達は感謝して居ります。

なお四月廿一日には見ヶ崎川において笹原ときさんの浸礼が行なわれ、新しくまた一人の姉妹の誕生したことを喜びます。

中央地方部大会

「モルモン経について」と題し、四月二十

七、八、九日の三日間、部内十支部より参集者を交えて東京で行われたが、地方部発足以来の二百名に及ぶ盛況さであつた。

二十九日のピクニック(百五十名参加)を

のぞいて他は、渋谷区の千駄ヶ谷区民講堂で

開かれたが、初日はゴールド・バンド・グリ

ーン・ボール。会場いっぱいにはりめぐらさ

れるテープは今大会にはすがたを消して、天

井よりつるされた数十の星のもとに、元気の

よいMIAの常連が、フォーク・ダンスを会

場せましとおどりまくつた。各支部のストレーシヨンはイキな浴衣すがたの前橋支部会員九名による「前橋おんど」が絶佳。

翌二十八日の一般大会に於ける説教者は次のようにこの地方部のベスト・メンバーをそろえ、特に印象深い話を聞くことが出来た。

「モルモン経の起源」

佐藤龍猪兄弟(東京中央)

「モルモン経の証詞」

渡辺かん兄弟(東京中央)

「モルモン経と救いの原則」

吉宗ツタノ姉妹(高崎)

「モルモン経の約束」

田中健治兄弟(前橋)

原稿募集

◎各支部の活動報告 (四百字詰三枚位)

◎証詞 (同 二枚位)

◎メロ切 (毎月十五日迄)

◎送り先 浦和市岸町八の一一四

高木 富五郎宛

備考 (イ)原稿は原稿用紙に書くこと

(ロ)支部の各種写真を送つて下さい

信仰と証詞

証詞

〇．．前稿支部 田 中 健 治

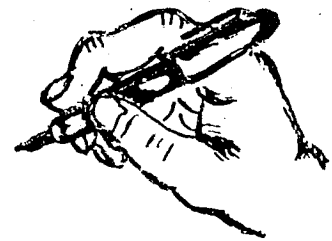
今私はこのペンを執りながら皆様に私の持つております喜びをお伝えできる幸いに胸がふるえております。私は文章を書く力が少いのので少しでもよく真実が書けるようにとお祈りしております。

四月二十八日午後一時、私はアンドラス伝導部長さん初め、四人の方の按手の下で、あとからあとから流れだす喜びの涙を止めることが出来ずにおりました。『田中兄弟、あなたの受けました苦しみはあなたの進歩のために与えられた大切な試練でありました。そしてあなたはそれによつて清められたと存じます。』私は聖なるメルケセデク神権を与えられました。もし私が正しい生活を常になし、謙遜に、熱心に神権の召に従つて歩み、神様と人々を愛して働くなら神様はいつも私を通して働かれるのです。男子にとつてこれ以上

の光栄喜びはあるでしょうか。私は一つの驚くべき段階にまで導かれたのです。

私は幼時よりキリスト教の思想の下に育てられました。私は神様の前に義しい人になりたい。そしてキリストの高い標準によつて生活したいと望んでおりました。しかし努力すればする程みにくい自分の姿を見出しました。

『もし完全な喜びのある生活、黄金律の生活が出来るのならこの生命は一年で良い』と考えて我武者羅な努力をして見た私は何の効果もなくますます暗黒の中にいる自分に気付きました。約束されている聖霊の導きがないのです。その原因が水と火によるバプテスマを受けていないことにあると思われました。真のバプテスマはどこで受けられるのか、多くの宗派のどれでも良いのか、その日から私は真のバプテスマを受けられる機会が与



れるよう祈り始めたのです。

とうとう神様は真理の使者を遣して下さいました。一九五三年三月二十六日に宣教師にお会いした後の真の教会、福音のすべては、もう神様が活きて働いていらつしやる時代は過ぎてしまつたのかと思ひ始めていた私を本当に喜ばせました。その四月十九日聖書に約束されている通りの真のバプテスマを受けました。心の底からの喜びで流れる涙を経験したはじめでもありました。

私は教会を知る前から無理のため眼を悪くしておりました。それまでは仕事をしながら癒そうとしていましたが、会員になつて後、強く御霊に注意され、病院に入りました。それから三年三ヶ月の入院生活は私にとつて苦しい多くの問題がありました。しかし祈る時神様はいつも「信仰を深くして行きなさい。心配はありません」と励まして下さいました。弱い私が長い入院生活をいつも明るい病人として送れたのはそれに加えていつも見舞つて下さつた多くの兄弟姉妹の愛、また欠かすことなく続けて下さつた長老達による家庭集会、

ことなど枚挙にいとまがありません。灌油^{かんあぶ}按^{あん}手を受けましたこと、そして御意により、普通兩眼に来るべき病氣は遂に片眼で喰止められ熱心に治療して下さったお医者さんからもその幸運を祝されることになりました。三つの箱は遠方の方々からの励ましと慰めの手紙で一杯になりました。療友やお友達に寝ながらでも神様のことをお伝え出来たのも幸いでした。火事の晩のこと忘れられることは出来ません。「田中兄弟、無事でよかったですねえ」と競々つめかけてくれた兄弟姉妹達は、他の患者さんの荷物を運んだり、手を引いたりまでもして感謝的でした。一九五七年三月三十日片眼の視力を失つてゐるとは云え、入院当時よりはるかに元気で、希望に満ち退院した私を人々は「どこも悪いとは思えない、元気ですね」と喜んでくれました。私は嬉しい喜びの経験だけを述べてしまいました。弱い不完全な私に苦しい困難な問題はあつたのですけれど、それは人を幸福にしてくれる誰もが経験するものだつたのです。私は問題にぶつかつた時、それが精神的なものであれ、物質的なものであれ、祈るとき「信仰を強くして

行かうように」と神様が聖靈によつていつかして下さつたことをあかしいたします。そしてきつとその問題は解決されました。それのみか私を永遠の生命の方向に導き、喜びを与えて下さつたことをよく知つております。神様の恵みは常に導きと励ましによつて人を今日より明日と眞の幸福に向つて足を運ばせて下さるものであり、パウロの申しましたように「聖徒にとつては、すべてのことが益である」とあかしいたします。

そして私は小さいものですけれども末日のイエスキリストの教会のために、力のかぎり働きたいと願つております。

最後に私は皆様に感謝をかゝせて頂きます。ありがとうございます。又全ての方々の義の戦いの上にもいつも祝福のありますよう、そして共々終りの日まで働かせて頂きますようお祈り致しております。全てをキリストの御名によつてお捧げいたします。アーメン

救われた証詞

〇・・・東京北支部 中村 協子

迷える羊を命をかけて探す羊飼、これは主

イエスキリストの在りし日の御姿であり、
が現在も尚その役目を負うて居られます。私もかつては迷える羊でありました。永い間、眞暗な森を一人淋しく歩み続けた私をも主イエスキリストは決して見捨て給はず探し求めて下さつたのです。四月十四日は私にとつて忘れる事の出来ない感謝の日でありました。私の歩み続けた森にはそれ以来まばゆい春光が七色に輝いてこづえの間より差し込みました。そこには小鳥のさえずる声を聞き一面に咲き乱れたつじの花をながめながら歩んで行く時、足もとの草の繁みの中から小兎が可愛い顔をのぞかせる。

私の現在の心は一枚の黒い紙が此の様な美しい絵に描き変えられたとでも云えましよう。救われた喜びの世界とは此の様に常に美しく平和であります事を目の辺りに見る事が出来まして人生の生れ変りの素晴らしさをつくづく感じて居ります。闇の世界を光の世界に変えて下さいましたのは唯一筋に神様の絶大な恩恵であります事と心から感謝致して居ります。去年の八月の或る日ふとクック長老とアトキンソン長老の訪問を受けました。誠に小さ

な存在の私ではあります。が神様は始めに宣教師をお遣し下さいまして豊かな愛をもつて救いの道に入れて下さいました事を深く感謝致しております。又教会に於ても多くの兄弟姉妹から善い指導を頂いております。すべてを感謝しつつこれ等の言葉を証詞にかえさせて頂きます。(五月七日)

光を与えたもの

○・・・小樽支部 石 尾 つ る

最初私の心の中に光を与えて下さつた文章

それはメッセンジャーに載つていた故スミス大管長の「金で買えぬ貴い希望」でありました。神の御子 偉大なる救主イエスキリスト様の暖かい愛の御手により、またいつも変らぬ長老たちのお力により、罪深かつた、そして貧しい心の私が導かれましてことを声を大にして世の人々に知らせてあげたい。過去において不幸であつた私だけに一人で歩んで来た道はとても淋しいものでした。けれども其の淋しさの苦痛は自分一人で抑えて唯一すじに子供を大きく育てて強く生きる喜びとしていました。けれども其の子供は昨年天に召さ

れ、モフィット、ピーマン長老二人の美しい心づくしにより「石尾アルマ」と命名され、支部の兄弟姉妹の助けにより葬儀万端無事に終りました。そして今年はまた恐しい病氣にかかつてベッドに横わる身となり、色々と考えさせられました。現世においては誰も私を救つて下さる方はないのだと・・・

しかし振り返つて見ますと、これはみな神よりの大きな試練であり、この世での一番大きな私の仕事であると思ひ、なお一層深く神に感謝しております。これからさきどんな事が

福音書の日本語版

新訳「モルモン経」(口語体、上製)

三〇〇円

◎日曜学校用

末日聖徒イエスキリスト教会の

特色を示す信条と慣例、儀式

萬人のよきおとずれ

一〇〇

一〇〇

一〇〇

一〇〇

一〇〇

一〇〇

二五

本語版

日曜学校の手引

二五円

初等協会用教科書

一五〇

図書管理者便覧

二五

信証講義

一九〇

演劇用テキスト

五〇

スクエアダンスとフォークダンス

三〇〇

スポーツの手引

二五

ゲームとその遊び方

六〇

◎讃美歌

二九〇

末日聖徒讃美歌

三〇

末日聖徒讃美歌抜萃

一二〇

子等は歌う

二五

イエスキリスト教会を見出すように導く使命のあることを証し致します。

私は末日聖徒である

〇・・・室蘭支部 鈴木 正 治

最近私は「私は末日聖徒である」と云う自覚を日々新たにする事によつて、私自身の信仰と証詞が非常に強められた事、その強められた信仰と証詞と、そして全智全能、生ける天父に対する心からの祈りを捧げる時、私の眼前に横たわり、歩みの障碍となつていたあらゆる罪から解放され、また種々の誘惑を克服出来るという事実を知りました。この事から証詞したいです。

私たちは常に末日聖徒としての自覚を新たに致しましょう。そして心から私達末日聖徒の礼拝する神様に御祈りを捧げましょう。

最後に私達の心から模範と仰ぐ、主イエスが、真にキリストであり、彼が再び私達末日聖徒のすべての前に、その御姿を現わし給う日の非常に近いと云う事を証詞したいです。

支部訪問記

仙台支部の巻

教会の力は、その会員又は組織の中に横わるものではなく、各会員の心の中に燃える個々の証詞の中に存する。

ハロルド・B・リー



教会堂

先日ロバートソン長老一行の送別会が東京中央支部で開かれた。その席上ロバートソン長老は仙台の思い出と証詞をたてて送別の辞

じたのであるが、本当に仙台支部は素晴らしい支部であつたと語つた。出席者の中には彼の外にモルガン長老、シヤムウエイ長老他に二人の仙台に伝導した帰還宣教師がいたが、ロバートソン長老の話にみな讃意を表わし、「仙台支部は立派な信仰強い渡部支部長を中心として、家族的な結合があり、その結合からかもし出される兄弟愛は人の心を本当にあたためけつして忘れない」という一致した意見をのべていた。

さて、この仙台支部にまつた多くの部外者とびこむと、一目で信者同志の親しみがわかる程、互に本当に深く理解し合いそして心から愛し合つてゐる。誰れしもその「第一印象はよかつた」と語るのはその愛故である。

この支部の一人一人は、この支部で生まれ、成長して来たのであつて、その指導者も、突然天からさづかつたものではなく、教え、教えらるる立場の会員の中から選ばれたのである、云うなれば親しい友であり、兄であり弟であり、姉であり妹である会員同士である。役員は従つてみな謙遜で、支部長自身みずからは熱心であると謙遜し、熱心にすべての集

会に出席して若い信者達と一緒にたつて福音の研究をおこなう。そのよい気風が会員一同にもたらされて、数年のうちに優秀な信者を多く作り出した。この支部が全国でも珍しい程、組織が充実しているのも、会員すべてがよい指導者であるからだ。

今年に入つて大阪の岡町支部、阿部野支部、東京の中央支部、横浜支部といった所は支部長会が組織され、補助組織の役員も充実したが、それに加えて仙台支部は順位をつければおそく上位に入ると思う程しつかりした組織が作られた。例えば第一に所属の信者による支部長と副支部長は東京の中央支部と全国でまだ二つしかない。第二に系図委員会、福祉委員会の組織されている支部は全国にくまれであるということからも肯かれる。そして充実した支部には三十名以上の役員が居るはずであるが、この支部にはそれがやゝ上まわる数でもある。

その支部の役員がしつかりしているか否かは、すべての会がよく計画され準備されたかをみればすぐわかる。役員会がしばしば開かれていてという事だけでこの支部の日曜学校

やMIAはすでにそのよさをものがたつてゐる。



仙台支部大会

字の夕べ」ロシア文学者東北大学オニ講師、「旅行談の夕べ」河北新報編集局長といった市の有名人は、喜んで彼等の招待を受けて支部教会堂の壇上に立つた。このような計画された会なので出席者は会堂に入りきれぬ程で、より大きいホールの必要性を一人一人が切望している現状である。

現在の会堂は数年前、クラーク長老のほねおりで、木造二階建の日本家屋を買い入れ、内側を改造して洋風に仕上げ、ホール一つとクラスの部屋を三つ、それに宣教師の私室を二つ作つたのであるが、非常に便利で、その一応の成功さは、次に続いた十に近い同ケースの会堂講入という形に表われたのである。宣教師宅の一時的な会堂利用は仙台に初めてなされたのであるが、今でもクラーク長老の手腕は語り草となつてゐる。

この支部の五月一日現在の会員数は七四名でその内訳は姉妹四四名、兄弟で神権を受けていない会員十一名、執事六名、教師二名、祭司五名、長老四名、子供女子二名となつてゐる。

MIAが計画したオープン・ナイトの有名な

人招待はすでに定評のあるものである。



記録をみると同姓の会員がはなはだ多い。

それらはみな親子、兄弟、姉妹である。例へば渡部姓が七名、塩姓が六名は家族の会員である。最近塩家では、高齡八十二才の祖父も没禮を受ける予定になつてゐる。兄弟關係は帰還宣教師阿部姉妹が弟と妹合せて三名、遠藤兄と妹で二名、上野兄と弟で二名、福田兄弟は弟の方が旭川伝道中の福田通称マコチャン長老、兄が渡兄弟、宮城が姉と妹二名である。興味深い事に右の家族組と兄弟姉妹は皆手帳であり、補助組織の役員名簿をみるとまづついてしまふ。このような所にも仙台支部の信者間の親密さの一つの理由もあると思う。血と靈のつながりにおける兄弟姉妹、なんと素晴らしい事ではないか。

このへんで系図委員会と福祉委員会について若干の説明を加えてみよう。

系図委員会の組織は二年半前、初代会長は福田真兄弟であつた。顧問の一人である阿部千枝子姉妹は特に熱をいれ、現在にいたるまでこの活動の中心となつて勵いて来た。性とその支那は死者のバプテスマやシンリングについては教義の知識のみで、実際になんら手をつけていないが、この支部に於てはすでに四

家族のファミリー・グループ・シートが地に送られた。そして死者の没禮とエンダウメントが終つてゐるものもある。現在の会長は支部長会第二副支部長福田渡兄弟である。

福祉委員会は昨年の末に発足したばかりで本格的な活動は今後にまたねばならぬが、それでも、苦学生の援助や職のない人に対する救済に力を入れて居り、姉妹達による洋服店のような形式で新規の事業計画もある。会長の柳沢政太郎兄弟は（支部長会の第一副支部長）特に福祉事業に熱意をもつて居り、この委員会の役割の一端を果しているシオン商会の社長格でもある。

柳沢兄弟と福田兄弟、それに日曜学校管理会長の斉藤兄弟の三人で昔ブリガム・ヤングが設立したユタ最古の商社、シオン商会と同名のクリーニング店を開いたのは昨年十月と聞く。日曜休日のこの兄弟会社はその真面目な商法が買われて目下発展中であるが、会員の生活と信仰面に於ての諸問題を解決するためにおこされた事業だけにぜひ発展させたい。

このように仙台支部の信者達は着実にこの

音を実践にうつしてゐるのであるが、一人一人のもつ証詞が本当に強いからである。街頭伝道と車中伝道で有名な支部長に導かれて、信者達も一生懸命に個人的な伝道にはげんでゐる。仙台支部が強いといわれる最大の理由はここにある。今後さらに強くして行くには、なんといつてもより一人一人の「あかし」を強くして行く事が絶対的なものである。

仙台支部がより強くなるよう心からお祈りする。（次は岡町支部）



福祉委員会発足記念

末日聖徒イエス・キリスト教会信仰簡条

(1956年8月校訂、承認)

- 第 1 条 われらは、永遠の父なる神と、その御子イエス・キリストと聖霊とを信ず。
- 第 2 条 われらは、人は皆各々其身にてなしたる罪に対して罰を受け、アダムの咎に対して罰を受けざることを信ず。
- 第 3 条 われらは、キリストの贖罪により、すべての人類は、福音のおきてと式とを守ることによりて救われ得ると信ず。
- 第 4 条 われらは、福音の第一原則と儀式とは
第1、主イエス・キリストを信ずる信仰
第2、悔改め
第3、罪の赦しを受くるために水に沈めらるるバプテスマ
第4、聖霊の賜を授かるための按手礼
なることを信ず。
- 第 5 条 われらは、福音を宣べ、且つその儀式を執り行うためには、啓示と、威ある者の按手により、神によりて其任に召されねばならぬことを信ず。
- 第 6 条 われらは、教会には、初期の教会に在りたると同一の組織、すなわち徒、予言者、監督、教師、祝福師等のあるべきことを信ず。
- 第 7 条 われらは、異言を語る力、予言する力、啓示、示現を受くる力、病をす力、異言を訳く力等の賜あることを信ず。
- 第 8 条 われらは、正確に翻訳されたる限り、聖書は神の御言葉なりと信ず。またモルモン経も神の御言葉なりと信ず。
- 第 9 条 われらは、すべて神のこれまでに啓示したまいしこと、すべて今啓したもうことを信じ、なお今より後、神の王国について多くの偉大にし重要なことを啓示したもうことを信ず。
- 第 10 条 われらは、イスラエル人は、文字通りに四方より集合し、その十支族元に立ちかえることを信ず。われらは、シオンはこの(アメリカ)人に建てられ、キリストは御自ら地上に王となりて治めたまい、地球はにあらたまりて樂園の栄えを受くることを信ず。
- 第 11 条 われらは、自らの良心に従い、全能なる神を礼拝する特権ありと主張。また、われらは、すべての人々にこの特権を許し、何所なりとも、如様なりとも、または何なりともこれを礼拝することを妨げず。
- 第 12 条 われらは、王、大統領、統治者、長官に従うべきを信じ、また法律をい、守り、支うべきを信ず。
- 第 13 条 われらは、正直、真実、貞潔、慈善、高德なるべきこと、およびすべての人に善を行うべきことを信ず。まことにパウロの訓戒に従うというを得く、われらはすべてのことを信じ、すべてのことを望む。すでに多くを堪え忍びたれば、あらゆることを堪え忍び得んことを望む。もし何ても、徳高きこと、好ましきこと、よき聞えあること、あるいは哀むべきことあらば、われらはこれらをたずねもとむるものなり。

ジョセフ・スミ

一九五七年六月一日発行

編集人

高木富五郎

発行所

北 末日聖徒イエス・キリスト教会
部 部
極 部
東 部
伝 部
道 部
部

東京都港区麻布広尾町十四